Panasonic

SmartLighting Eco
環境配慮型既設対応埋込型器具
非常用照明器具「電池内蔵型」

施工説明書
取扱説明書
保管用

（一般屋内用）

品番　FSG（FSGH）42750A

※上記（）内は加工品番です。
（以降、加工品番の記載を省略します。）

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

⚠警告

●施工は、施工説明にしたがい確実に行う。
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。

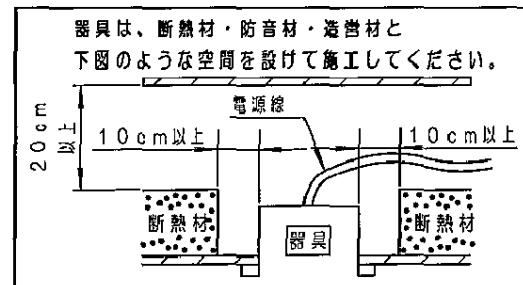
●断熱材、防音材をかぶせて使用しない。
火災の原因となります。

器具は、断熱材・防音材・遮音材と
下図のような空間を設けて施工してください。
電源線
20cm以上
10cm以上
10cm以上
断熱材
器具
断熱材

●天井埋込専用ですので、壁取付や天井直付はしない。
落下・感電・火災の原因となります。

●器具を改造しない。　落下・感電・火災の原因となります。

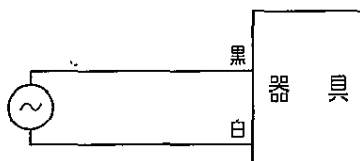
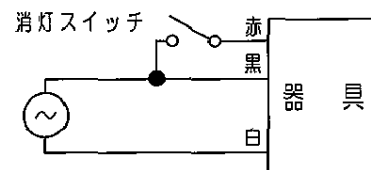
●表示された電源電圧（定格電圧±6％）・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電の原因となります。

●蓄電池は、短絡・分解等しない。火災・破裂・感電・やけどの原因となります。

⚠注意

●直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、
風の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
落下・感電・火災の原因となります。

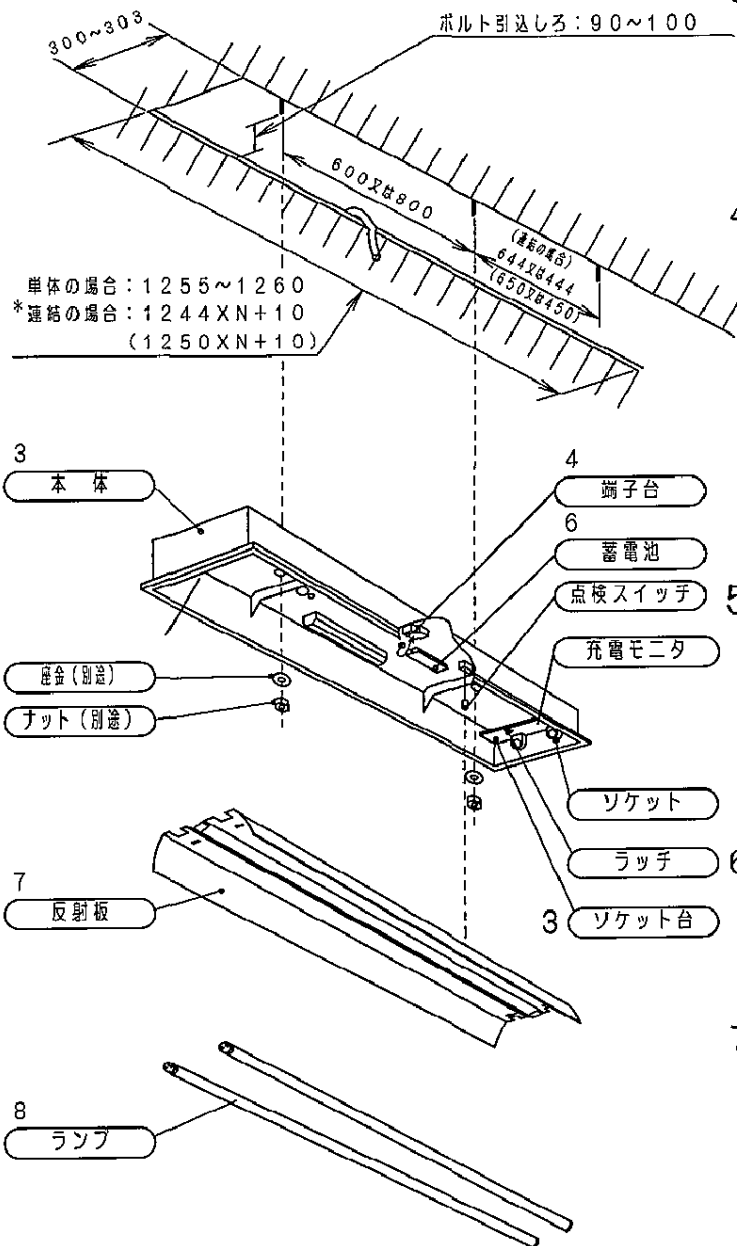
●周囲温度は、5～35℃で使用してください。
指定外の周囲温度で使用すると、蓄電池の劣化、ちらつき、短寿命及び非常点灯しない原因となります。

配線種類

・常時消灯しない場合（2線式）

・常時消灯する場合（3線式）

（端子台の赤色短絡線を取り外す。）

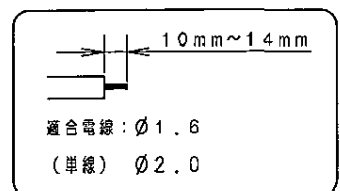
各部のなまえと取付方法

⚠警告
施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

ＦＳＧ４２７５０Ａの例で説明しています。

1 取付前の確認
・器具質量（８．７ｋｇ：ＦＳＧ４２７５０Ａの場合）に十分に耐える様、ボルト取付部の強度を確保する。（取付ボルトは、Ｗ３／８又はＭ１０を使用する。）
不備があると器具落下の原因となります。

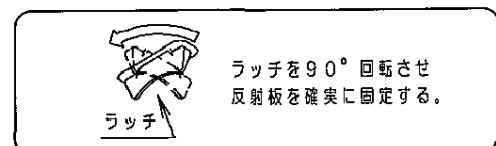
2 埋込穴の開口
・埋込穴、取付ボルトを図の様に用意しておく。

3 本体の取付
・電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
・本体を取付ボルトに確実に取付ける。（推奨トルク値０．８Ｎ．ｍ）
・ソケット台を持っての取扱いはおやめください。
器具落下の原因となります。

4 電源線の接続
・電源線を確実に差し込む。

・Ｄ種（第３種）接地工事が必要。
・端子台の容量は、２０Ａです。（送り機能付）
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、感電・火災の原因となります。

5 アース線の接続
・アース線をアース接続端子に確実にカシメる。
接続が不完全な場合、感電・火災の原因となります。

6 蓄電池コネクタの接続
・常用電源通電後、蓄電池コネクタを接続してください。
・方向を合わせ確実に奥まで差し込む。
接続が不完全な場合、非常点灯不点の原因となります。

7 反射板の取付
・充電モニタと反射板の穴の位置を合わす
・点検スイッチを反射板の穴に通す。
・ラッチにて反射板を確実に取付ける。

取付が不完全な場合、反射板落下の原因となります。

8 ランプを確実に取付ける
取付けが不完全な場合、ランプ落下の原因となります。

9 点灯確認
・電源通電状態でランプおよび充電モニタが点灯するか確認する。
点検スイッチを引き非常点灯を確認する
（充電モニタは消灯します）
正常に動作しない場合は、（故障かな？と思ったときは）の項を参照してください。

＊連結の場合の埋込穴寸法は連結用器具の取扱説明書にてご確認ください。

取扱説明　お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

- 器具を改造しない。　落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのままで使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。　感電の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。
- 蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしないでください。破裂する危険があります。
- 蓄電池は絶対に分解しないでください。火傷、感電の原因となります。電池内の液は皮膚や衣類をいためます。
- 蓄電池のショートは絶対にさけてください。火災・破裂・感電・やけどの原因となります。
- 照明器具には寿命があります。（※１）
法令に基づいて定期的に点検を実施してください。点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などにいたる場合があります。
- １年に１回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
（チェックシート番号：ＣＬＸ２０２１ＢＡ）点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

※１　照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、８～１０年が取り替え時期の目安です。但し、蓄電池は４～６年です。
使用条件は、周囲温度３０℃、１日１０時間点灯です。

使用上のご注意

・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
・同時通訳器等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。
事前に確認し、対策を講じてください。
・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。

● ＰＸ方式の場合。

・５～１５℃程度で調光時に移動縞がでる場合がありますが、５分以内に解消します。
・光出力比（％）と目で感じる明るさ感には相違があります。また、光出力比は室温、器具形態により異なり、ランプ周囲温度が高くなるほど調光範囲は狭くなります。
・ランプが点滅する場合は、ランプ寿命をあらわしています。

お手入れ・部品交換

・器具の清掃について　・・・・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
・シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤でふかないでください。
・変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
・ランプ交換について　・・・・・・本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。
（パナソニック製蛍光ランプをご使用ください）

⚠注意
- 感電のおそれあり
ランプ交換時は、必ず電源を切ってください
- やけどのおそれあり
点灯中や消灯直後はランプやその周辺をさわらないこと

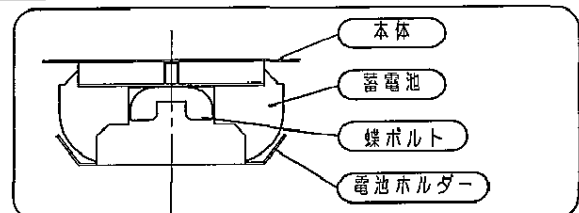
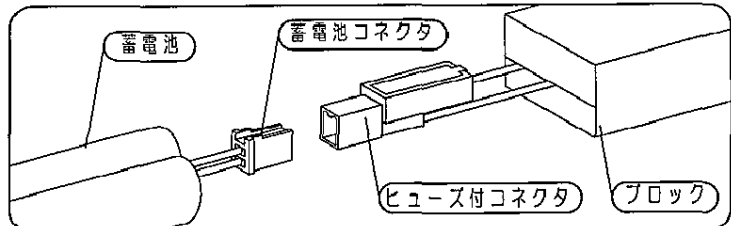
交換部品

蓄電池	ＦＫ７４８　（７．２Ｖ　３０００ｍＡｈ）

形番	ランプ	型式
ＦＳＧ４２７５０ＡＰＦ．ＰＸの場合	Ｈｆ蛍光ランプ	ＦＨＦ３２ＥＸ
ＦＳＧ４２７５０ＡＶＰＮ，ＶＰＨの場合	各種蛍光ランプ	ＦＨＦ３２ＥＸ／ＦＬＲ４０Ｓ（／３６）／ＦＬ４０Ｓ（ＳＳ／３７）

・蓄電池交換方法　・・・・・　・下図を参照のうえ確実に行なってください。

1. ランプをはずす。
2. 反射板をはずす。
   ・ラッチをはずし、点検スイッチを反射板のモニター穴を通しながら反射板をはずす。
3. 蓄電池を交換する。
   ・蓄電池コネクタを抜く。
   ・蝶ボルトと電池ホルダーをはずし、蓄電池を交換する。
4. 蓄電池を取付ける。
   ・はずした手順と逆の手順で確実に取付ける。
   ・電池ホルダーでリード線をきずつけないでください。
   感電・火災の原因となります。
   ・蓄電池コネクタは確実に差し込む。
   接続が不完全な場合、非常点灯不点の原因となります。
5. 反射板、ランプを取付ける。
   ・はずした手順と逆の手順で確実に取付ける。
6. 点灯確認
   ・電源通電状態でランプおよび充電モニタが点灯するか確認する。
   ・点検スイッチを引き非常点灯を確認する。

取説Ｎｏ．ＦＳＧ４２７５０Ａ－Ｔ１２

保証について

・保証について・・・・この商品の保証期間は１年間です。但し、安定器は３年間です。
　ランプ・電池などの消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
・保証書について・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
・補修用性能部品の・・弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、６年間保有しております。
　保有期間　　補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

◆定期点検　３ケ月に１回は、破損・変形などの外観の点検をお薦めします。
６ケ月に１回は、外観点検と機能点検を併せて行ってください。
（点検については、誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められていますので必ず実施ください。）

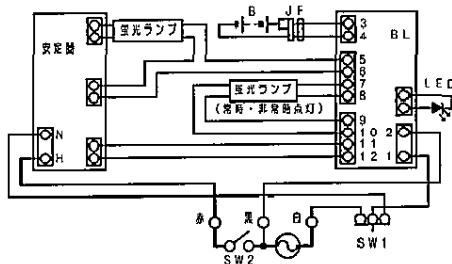
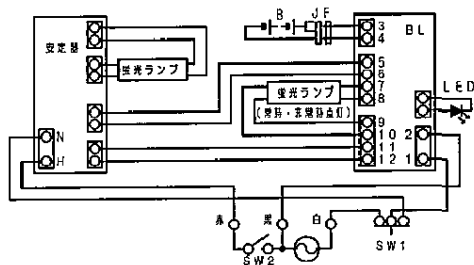
◆設置年月日　　年　　月　　日　◆取付場所　　◆器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能			外観	機能	

故障かな？と思ったときは

・表に従ってお調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

現　象	考えられる原因	処　置
常時、蛍光ランプが点灯しない	蛍光ランプの寿命	ランプ交換する
	消灯スイッチＯＦＦ	スイッチをＯＮする
非常点灯しない	蓄電池コネクタはずれ	コネクタ接続する
	ＡＣ電源が通電状態となっていない	ＡＣ電源が通電状態とする
短時間しか点灯しない （３０分未満）	蓄電池の充電不足 （保管時の自然放電や、施工時の放電など）	４８時間以上充電する
	蓄電池の寿命	蓄電池交換する
充電モニタが点灯しない	蓄電池コネクタはずれ	コネクタ接続する

器具定格・接続図

ＰＸ方式

記号・名称

ＢＬ：非常灯ブロック　　ＪＦ：ヒューズ付コネクタ
ＳＷ１：点検スイッチ　　Ｂ：密閉型Ｎｉ－ＭＨ蓄電池
ＳＷ２：常時消灯スイッチ　　ＬＥＤ：充電モニタ（発光ダイオード）

＜定格値＞

＜ＦＳＧ４２７５０Ａの場合＞

起動方式	ＶＰＨ９				
定格電圧	ＡＣ１００－２４２Ｖ				
ランプ	ＦＨＦ３２ＥＸ	ＦＬＲ４０Ｓ	ＦＬＲ４０Ｓ／３６	ＦＬ４０Ｓ・Ｗ	ＦＬ４０ＳＳ・Ｗ／３７
入力電流	０.９４－０.３９Ａ	０.９１－０.３８Ａ	０.８７－０.３６Ａ	０.９１－０.３８Ａ	０.９０－０.３７Ａ
入力電力	９３Ｗ－９１Ｗ	９０Ｗ－８８Ｗ	８６Ｗ－８４Ｗ	９０Ｗ－８８Ｗ	８９Ｗ－８７Ｗ

起動方式	ＶＰＮ９				
定格電圧	ＡＣ１００－２４２Ｖ				
ランプ	ＦＨＦ３２ＥＸ	ＦＬＲ４０Ｓ	ＦＬＲ４０Ｓ／３６	ＦＬ４０Ｓ・Ｗ	ＦＬ４０ＳＳ・Ｗ／３７
入力電流	０.７３－０.２９Ａ	０.７３－０.２９Ａ	０.７３－０.２９Ａ	０.７３－０.２９Ａ	０.７３－０.２９Ａ
入力電力	７２Ｗ－７０Ｗ	７２Ｗ－７０Ｗ	７２Ｗ－７０Ｗ	７２Ｗ－７０Ｗ	７２Ｗ－７０Ｗ

＜ＦＳＧ４２７５０Ａの場合＞

起動方式	ＰＦ９
定格電圧	ＡＣ１００－２４２Ｖ
ランプ	ＦＨＦ３２ＥＸ
入力電流	０.９４－０.３９Ａ
入力電力	９３Ｗ－９１Ｗ

起動方式	ＰＸ９
定格電圧	ＡＣ１００－２４２Ｖ
ランプ	ＦＨＦ３２ＥＸ
入力電流	０.９３－０.３９Ａ
入力電力	９２Ｗ

Ｎｉ－ＭＨ　この器具には、ニッケル水素電池を使用しております。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
ニッケル水素電池の交換、およびご使用済製品の破棄に際してはニッケル水素電池を取り出し、リサイクルへご協力ください。

パナソニック株式会社　施設・店舗照明ビジネスユニット　〒５７１－８６８６　大阪府門真市門真１０４８
お問い合わせ先　パナソニックお客様ご相談センター　０１２０－８７８－３６５（フリーダイヤル）　０１２０－８７８－２３６（ＦＡＸ）

ＭＮ１００３－１２１２１２